

The Rotary Club of Sapporo Odori Park

札幌大通公園ロータリークラブ
ライラック通信(2008/11/10号)

会長 大坂忠 幹事 高橋宏

第319回例会報告(2008年10月25~26日)

・地区大会が開催されました(移動例会)。

第320回例会予定(2008年11月10日)

・クラブフォーラム

第321回例会予定(2008年11月17日)

・ほっとパーティー

環境問題基礎知識(第14回:肉食と環境問題)

肉食は、伐採とも深い関係があります。

ブラジルは、2004年にアメリカとオーストラリアを抜き、世界最大の牛肉輸出国となりました。BSEの発生で米国産牛肉を嫌ったEU市場がブラジル産牛肉に目をつけたのがきっかけで、ブラジルは牧場開発に拍車をかけました。その後、口蹄疫発生等でEU向けの輸出は停滞しましたが、ロシアやエジプトなどは需要を拡大させているのが現状です。

ブラジルが排出するCO2のうち8割は森焼きによるものであると言われています。

ブラジルに所在するアマゾンの熱帯雨林は、大気中の酸素の3分の1を供給していることから「地球の肺」と呼ばれています。また、全生物種の5割を擁する貴重な原生林でもあります。この貴重な熱帯雨林が、現在、猛烈な速度で破壊されているのです。

アマゾンの土地は痩せていて、わずか2cm程度表土が失われたら、何も生えなくなってしまいます。そして、この表土も、100年以上かけてやっとできたものです。ジャングルを切り開いた牧草地は、牛の尿で酸性化し、牛に踏み固められた土地には草も生えなくなり、どんどん荒廃化していく一方です。

アマゾンを切り開いた牧草地は、すぐに草が生えなくなるので、大豆畑と養鶏所にされます。鶏肉は日本が最大の輸入国であり、大豆は家畜のエサや、油の原料となります。

我々が鶏肉を食する時、その背後では膨大な量の伐採(森焼き)が行われていることを忘れてはなりません。